

4月の進級・入園のときから、私たちは一日一日を大切に園生活を過ごしてまいりました。今年は“園舎の建て替え”ということで7月に運動会を開催するなど、例年とは違った1学期の暮らしとなりましたが、どの学年も無理することなく、日ごろから丁寧に行ってきたこと(並びっこ・体操・返事など)をそのまま運動会に繋げることができました。まさに日常生活の延長上に行事があることを実感した1学期でした。保護者の皆様には子ども達の健康面を支えていただきまして本当にありがとうございました。

早いもので今日は終業式。明日からはいよいよ夏休みに入ります。大切なお子様をご家庭にお返しするにあたり、園ではひとつしかない『命を守る』(車・水・暑さなどの事故に遭わないようにするためには、具体的にどのような自己防衛ができるのか)ことについて、子ども達と話をしました。詳しくは『こどもすこやか便り』でもお知らせしておりますので、ご家庭でも十分にお子様と確認され、元気で楽しく思い出に残る夏休みをお過ごしください。“夏ならではの体験”を通して心と体にたくさんの栄養を溜め込み、心身共にひと回り大きくなった子ども達と新学期に会えることを楽しみにしております。

2学期からは仮園舎での生活が本格的にスタートします。新しい環境ということで慣れるまで多少時間を要するかもしれませんが、子ども達と一緒に新たな生活のルールを考え、引き続き健康で安全な、そして仮園舎だからこそできることをみんなで出し合い、工夫しながら楽しく過ごしたいと思っております。

保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



長い間お疲れ様でした・・・心から『ありがとう』

今月末の園舎解体の前に、17日、全園児で『ありがとうの会』を行いました。伊藤恭子前園長が心を込めて書かれた『ありがとう』のメッセージが2階から掲げられた園庭では、子ども達が真剣な表情で園長先生の話聞き、長い間私たちを守ってくれた園舎へみんなで感謝の気持ちを伝えました。また、年長組からは、それぞれのご家庭で保護者の方と一緒に書いていただいた手紙を紹介しました。手紙の中には、「お父さんも、おじいちゃんもお世話になった幼稚園、なくなるのはとても寂しいです。」といった卒業生の思いも記してあり、改めて伝統の重さを感じた次第です。園舎の形は変わりますが、私たちは開園当初からの精神を忘れることなく「しせい教育(共育)」の目標に向かって今後も努力を続けてまいりたいと思います。

また、同日夕方開催された新園舎の説明会では、設計事務所、建設会社の方からの話を聞くことができ、いよいよ新園舎の工事が本格的に始まるという気持ちが高まってきました。子ども達、保護者の皆様には暫くの間ご迷惑をお掛けいたしますが、新しい生活の場の誕生を楽しみにお待ちしております。

【ふれあいレターについて】

親しい方に手紙を書くことを通して、心を繋げる手紙教育企画として、日本郵便から「かもめーる」をいただきました。これは、熊本市保育幼稚園課、熊本市私立幼稚園協会も推奨している事業です。この機会に親子で取り組んでみられてはいかがでしょうか。なお、協賛の熊本銀行浄行寺支店内でふれあいレターロビー展が開催されますので、投函前にはがきをお持ちくださいとのことです。詳細ははがきの広告欄を参照ください。